

# 令和四年度 公共政策学部

## 学校推薦型選抜 小論文

### 〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答用紙すべてに受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 4 この冊子は問題用紙（一一頁）・解答用紙（三枚）からなっている。
- 5 落丁・乱丁、印刷が不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 6 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に、縦書きで記入すること。
- 7 解答作成の際、句読点・カッコは字数に含めること。
- 8 試験開始後六〇分を経過しないと退室できない。また、試験終了前一〇分間は退室できない。退室するときは、手をあげて申し出た上で、試験監督者の指示に従うこと。

なお、解答用紙は机上に置き、その上に試験監督者が配付する用紙を重ね、問題冊子と下書き用紙は、持ち帰ること。

— 次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

〔六〇点〕

（著作権の関係で不掲載）

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(出典) 蟹江憲史『SDGs (持続可能な開発目標)』中央公論新社、二〇二〇年。

ただし、出題の都合上、原文の一部を変更した。

問一 企業がSDGsへの取り組みを強化している理由は何か、本文に即して説明しなさい。(二〇〇字以内)

問二 傍線部「四方よし」の意味を本文に即して説明した上で、本文で紹介されている事例以外で具体例を挙げ、あなたの考えを述べなさい。(七〇〇字以内)

(余  
白)

二  
次の表を見て、あとの設問に答えなさい。

表 男女賃金格差、婚姻率、合計特殊出生率の年次推移

年	男女賃金格差	婚姻率	合計特殊出生率
1964	53.5	9.9	2.05
1965	55.4	9.7	2.14
1966	55.2	9.5	1.58
1967	55.2	9.6	2.23
1968	55.3	9.5	2.13
1969	55.4	9.6	2.13
1970	56.1	10	2.13
1971	57	10.5	2.16
1972	57	10.4	2.14
1973	59.4	9.9	2.14
1974	59.8	9.1	2.05
1975	61.4	8.5	1.91
1976	58.8	7.8	1.85
1977	59	7.2	1.8
1978	59	6.9	1.79
1979	59	6.8	1.77
1980	58.9	6.7	1.75
1981	58.9	6.6	1.74
1982	58.6	6.6	1.77
1983	58.7	6.4	1.8
1984	58.6	6.2	1.81
1985	59.6	6.1	1.76
1986	59.7	5.9	1.72
1987	60.5	5.7	1.69
1988	60.5	5.8	1.66
1989	60.2	5.8	1.57
1990	60.2	5.9	1.54
1991	60.7	6	1.53

年	男女賃金格差	婚姻率	合計特殊出生率
1992	61.5	6.1	1.5
1993	61.6	6.4	1.46
1994	62	6.3	1.5
1995	62.5	6.4	1.42
1996	62.8	6.4	1.43
1997	63.1	6.2	1.39
1998	63.9	6.3	1.38
1999	64.6	6.1	1.34
2000	65.5	6.4	1.36
2001	65.3	6.4	1.33
2002	66.5	6	1.32
2003	66.8	5.9	1.29
2004	67.6	5.7	1.29
2005	65.9	5.7	1.26
2006	65.9	5.8	1.32
2007	66.9	5.7	1.34
2008	67.8	5.8	1.37
2009	69.8	5.6	1.37
2010	69.3	5.5	1.39
2011	70.6	5.2	1.39
2012	70.9	5.3	1.41
2013	71.3	5.3	1.43
2014	72.2	5.1	1.42
2015	72.2	5.1	1.45
2016	73	5	1.44
2017	73.4	4.9	1.43
2018	73.3	4.7	1.42
2019	74.4	4.8	1.36

(注)

※男女賃金格差「男性の賃金水準を100とした場合の女性の賃金水準の割合」厚生労働省「賃金構造基本統計調査」をもとに作成。

※婚姻率「人口1000人に対する婚姻件数の割合。婚姻率＝(年間の婚姻件数/10月1日現在の人口)×1000で算出される」厚生労働省「人口動態統計」をもとに作成。

※合計特殊出生率「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生むとしたときの子どもの数とされる」厚生労働省「人口動態統計」をもとに作成。

〔五〇点〕

問一 表から読み取れることを述べなさい。(四〇〇字以内)

問二 男女賃金格差と婚姻率以外で、合計特殊出生率に対して関係や影響があるとあなたが考える要因を具体的に一つ挙げ、その要因と合計特殊出生率の関係についてあなたの仮説を説明しなさい。(三〇〇字以内)

三

次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

[七〇点]

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

（著作権の関係で不掲載）

(著作権の関係で不掲載)

(出典) 北田耕也『大衆文化を超えて——民衆文化の創造と社会教育——』国土社、一九八六年。  
ただし、出題の都合上、原文の一部を変更した。

問一 民衆文化は、民俗文化、上流文化、大衆文化とどのような関係にあるか、本文に即して説明しなさい。(三〇〇字以内)

問二 筆者が指摘している民衆文化の「相互連帯」の機能について、具体例を挙げて説明しなさい。(五〇〇字以内)